

音楽科の学習

令和5年12月6日（水） 5年1組

<単元名> いろいろな音色を感じ取ろう

<学習について>

この単元は、次のような力を育てることをねらいとしています。

○音色、リズム、音の重なりなどと曲想の関わりを理解するとともに、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。

○打楽器の音色やリズムを組み合わせて音楽をつくる学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組むとともに、打楽器のリズムアンサンブルに親しむ。

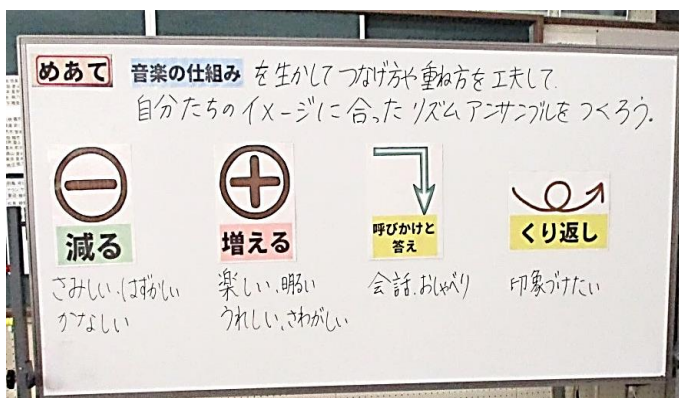
この学習は5時間予定で、本時は3時間目です。本時のねらいは次の通りです。

音楽の仕組みの働きを生かし、リズムのつなげ方や重ね方を工夫してリズムアンサンブルをつくることを通して、どのように自分たちのイメージに合った音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。

活動1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。

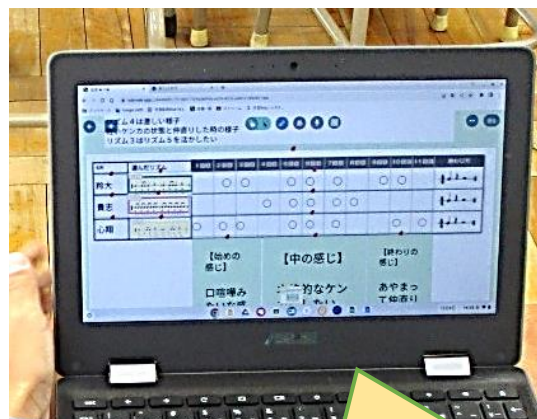


6種類のリズムの特徴やを想起できるように、手拍子でリズムを打ったり即興的にリズムを重ねたりする表現から、感じ取ったことを問いかけ、学習が始まりました。



学習めあて、今日の学習の流れをしっかりと確認して学習がスタートしました。

活動2 グループでイメージに合ったリズムアンサンブルをつくる。



まとまりを意識したリズムアンサンブルをつくることができるように、「始め」「中」「終わり」に分けてつくっています。



自分たちのリズムアンサンブルへの思いや意図を確かめながら、リズムのつなげ方や重ね方を確かめていきます。

つなげ方や重ね方を視覚的に捉えて表現を試行することができるように、端末上の色分けした付箋を操作しながらつくっていきます。

創作活動をする上で、ICT活用はとても有効です。



録音と再生を繰り返しながら、試行錯誤していたグループもありました。



中間発表の様子です。他のグループの発表から、表現のヒントを得られるように、いくつかのグループの表現を意図的に紹介し、表現の工夫点についてイメージと関連付けて問いかけました。



その後、各グループでの話し合いが一層活発に行われていました。

3 本時のまとめをし、学習内容の振り返りをする。



音楽の仕組みの働きを生かしてリズムのつなげ方や重ね方を工夫すると、イメージを膨らませたり、イメージが相手に伝わりやすくなったりすることを確かめました。

学習したことを端末に記録して終了です。